



松浦武四郎の足跡を訪ねて

役員 高瀬淑子



私は夫と二人で、松浦武四郎の足跡を訪ねる旅を続けている。武四郎の記録した現地に立ち、自然を五感を研ぎ澄まして感じ、人々と触れ合うことで、より武四郎に近づけると思うからだ。

武四郎が北海道の内陸部深くまで探査できたのは、アイヌの人々の道案内と助けがあったからだ。一方、当時のアイヌの人々が、場所請負制度により、苛酷な労働に苦しむ悲惨な様子を見聞きして怒り、悲しみ、訴えた武四郎の姿がある。武四郎はアイヌ民族を抜きにしては語れない。

アイヌの人々の文化に接し、祭りに参加することは、アイヌの人々の祈り、ものの考え方に触れることであり、人々の現実を知ること、理解へと繋がると考えている。

今年もたくさんの行事(儀式)に参加し、充実した日々であった。そのいくつかを紹介したい。

◆野付通行屋番屋遺跡へ

通行許可を取って、野付半島の先端近くにある、武四郎も訪れた野付通行屋番屋遺跡へ、屈斜路のアイヌの友人と延々と一緒に歩いて入った。

◆シャクシャイン法要祭(新ひだか町静内真歌の丘)

345年前、アイヌ民族の永遠なる平和を願って蜂起し、無念の最期を遂げた英傑シャクシャインの法要祭。カムイノミには、鳩山元総理、加藤北海道アイヌ協会理事長はじめ錚々たる多数の来賓。午後行われた道内各地の保存会の芸能交流会。紅葉盛りの林に囲まれた緑の広場で行われたそれは、自然の中でこそ、この民族芸能が映えることをしみじみ感じさせられた。ことに父親の踊るグリムセの足元で、小さな弓矢を持った2歳の男児がよちよちと踊る様子が微笑ましく、人々の笑いを誘い、後継者が育ちつつある喜びをもたらした。

◆松浦武四郎モニュメント除幕式(白老ポロトコタン)

「民族共生の人・松浦武四郎」というすばらしいモニュメントが建立された。

◆シシャモ・カムイノミとイチャルパ(むかわムレトイの丘)

最も感動した祭り。150年前武四郎も歩き、見た原風景とおそらくあまり変わらないだろうと思われる美しい海岸線とそれに続く原野。その小高い丘の上でのカムイノミ。民族衣装で正装したたくさんの人々(もちろん私たち二人も)が行うカムイノミは、場所柄もあり、これぞ正しくアイヌ民族の伝統の儀式と感動的であった。



総会の予定

5月10日(日)の講座会の後(11時頃から)
平成27年度総会を開催する予定です。



謹賀新年

今年も宜しく
お願い致します。
役員一同

松阪偉人顕彰団体協議会活動報告

氏郷まつりにあわせて松阪市産業振興センターで開催されました。初日の2日には、記念館の山本命学芸員による「松浦武四郎と松阪一知識人との交流」と題して、講演があり、2日～3日には、松阪の偉人生涯展を行い多くの方が来られました。

5つの顕彰団体と主な展示は次の内容でした。

- ☆蒲生氏郷公顕彰会・・・氏郷の生涯展、会津の女性誌(ハンサムウーマン)配布
- ☆松阪商人を語る会・・・小津清左衛門家の紹介
- ☆茶王 大谷嘉兵衛の会・・・大谷嘉兵衛の年譜及び功績を紹介
- ☆射和昔を語る会・・・竹川竹斎の紹介
- ☆松浦武四郎記念館友の会・・・武四郎の年譜と功績及び友の会の活動紹介



その他には、茶業組合の方々によるお茶のサービスもありました。又、氏郷まつりの行列を終えた「氏郷公」と「冬姫」も生涯展に立ち寄られ、来場者との記念撮影もあり、大変賑いました。



講演会の様子



武四郎友の会のコーナー

射和「昔を語る会」との交流会実施

射和「昔を語る会」との交流会を11月15日(土)に射和から10名、友の会から11名と中野館長の計22名が参加し記念館和室にて実施しました。

それぞれの会での活動内容の報告や意見交換を行った後に、記念館で展示中の涅槃図や静嘉堂所蔵の中から涅槃図に描かれている武四郎が集めたコレクションについて中野館長から説明を受け、最後に7月に建立した武四郎が詠んだ和歌の碑の前で集合写真を撮影しました。射和から参加された方は若い方も参加されて将来が楽しみです。



射和の方々と(和歌の碑を囲んで)



交流会の様子

市政バスツアー報告

恒例となった松阪市内の施設を巡り学ぶバス旅行を11月21日(金)に29名の参加で好天のもと実施しました。

記念館を出発し、歴史民俗資料館、長谷川邸、クラギ文化ホール、松阪地区広域消防組合本部を見学しました。

一般公開されるようになった長谷川邸、クラギ文化ホールの舞台裏側、消防組合本部では指令本部など普段は立ち入ることのできないところを見学しました。参加された小林恒子さんに感想文をいただきました。



広い屋敷と庭園を見学(長谷川邸)

市政バスツアーに参加して

会員 小林恒子

市政バスツアーに参加させていただき、松阪市内の施設を巡り、とっても有意義な勉強をさせて頂きました。朝から好天に恵まれ、先ず歴史民俗資料館では商業の町松阪に関する「江戸時代からの立派な資料」が、沢山展示されていました。

続いて長谷川邸へ……松阪は街道の要衝地として発展し、また商業の町として多くの豪商を出し、特に長谷川邸は広大な屋敷構えと建造物群は重厚な構えでとっても素晴らしいです。膨大な資料も良好な状態で保存されていることは歴史的文化遺産として素晴らしいと思いました。

続いてクラギ文化ホールへ……色々な催しが行われる施設の概要を詳しく裏の裏まで設備を説明していただき、とっても良く判りました。施設の利用は度々させて頂いていますが、音響とか照明とか色々お世話になっているんだなあと感謝感謝です。

続いて松阪地区広域消防組合本部にて職員の皆様の大変な仕事の内容等、そして設備施設や消防自動車、救急車の説明等詳しく教えていただきました。とっても良い勉強をさせていただきました。企画に携わっていただきました方々に感謝すると共に、私自身楽しい一時を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。



舞台の上で(クラギ文化ホール)



消防本部指令室

小学生対象に武四郎を紹介

☆10月3日に小野江小学校の5年生を対象に、飯田会長が講座を
すると共に誕生地や伊勢街道を案内しました。

☆掃水(ていすい)小学校において、10月27日に5年生(25人)対象に
紙芝居を佐波副会長が行いました。

☆米之庄小学校において、11月30日に「たけちゃんまつり」が
開催され、その中で佐波副会長が紙芝居を行いました。

55名の子供たちと保護者・関係者89名が参加し、中野館長が
武四郎に扮して語りかけると、子供たちは真剣な表情で聞き入り、
ときおり頷いていました



小野江小学校での講座

記念館よりのお知らせ

☆武四郎講座

2月8日(日) 10:00～ テーマ：(仮)蝦夷屏風の保存修理

3月8日(日) 10:00～ テーマ：(仮)明治12年の武四郎

4月12日(日) 10:00～ テーマ：未定 講師：未定

☆展示内容

◆武四郎をめぐる文人たち ～ 2月8日(日)まで

松浦武四郎は詩歌、書画の世界にも通じ、幕末から明治維新に活躍した多くの文人たちと交流しました。文人としての武四郎の姿と、武四郎と交流のあった文人から武四郎へ贈られた作品を紹介します。

◆武四郎をめぐる武士たち 2月10日(火)～4月12日(日)まで

ペリー来航など相次ぐ諸外国の来航の中で、尊王攘夷の思想を抱く志士や、幕臣など、幕末



紙芝居をする佐波副会長

講師：坂田墨珠堂

講師：佐藤貞夫先生

に活躍した多くの人物と交流した松浦武四郎。出版活動を行い、志士として活躍した姿を紹介します。

☆第20回記念すべき武四郎まつりのご案内

鈴木英敬三重県知事ご臨席の上、松浦武四郎記念館及び周辺(雨天の場合は小野江小学校体育館内)で、例年通り開催されます。

◆ 日時：平成27年2月22日(日)午前10時～午後3時30分頃終了予定(雨天決行)

◆ 主な内容

☆「アイヌ古式舞踊」・・・出演：白糠アイヌ文化保存会

☆武四郎が詠んだ和歌を詩吟で披露

☆武四郎の和歌の碑及び大意プレートの見学

☆特別展示「アイヌ民族ほか北方民族」資料展

☆屋外での地元有志による名産の販売・北海道の物産販売

☆友の会活動状況の展示

☆伊勢太神楽獅子舞の演奏(真覚寺前広場)

※武四郎誕生地、真覚寺も開放して案内・説明もあります。

誕生地前広場にはお休み処があります。

☆松浦武四郎記念館とアイヌ民族博物館(白老町=野本正博館長)は
姉妹博物館の提携を結びました！！・・・10月25日

右の写真は提携書で、野本館長と中野館長のサインがあります。



提携書

【友の会よりのお知らせ】

会員懇談会を12月14日に開催しました。

主な意見・提案は次の通りです。順不同。今後役員会で検討します。

- ◆講座を毎月開催することは大いに意義があり、継続して欲しい。
- ◆総会開催時に友の会として、何かイベントを実施しては・・・
- ◆「友の会」だけではなく、誕生地へ「武四郎」や「親子」歌碑を造っては・・・
- ◆松阪市内の小学校2校、及び「たけちゃんまつり」(米之庄小学校)での紙芝居は好評。
- ◆来年度の研修旅行は、北野天満宮と宇治平等院であれば、是非参加したい。
- ◆武四郎の分骨碑がある大台ヶ原(西大台)へ行ってみたい。
- ◆健康維持と親睦を兼ねて、ウォーキングを計画しては・・・
- ◆旧松阪市内の方はまだまだ武四郎の事を知らないなので、武四郎カレンダーや「キャラクター物」を作っては・・・また、友の会だよりの充実や誕生地保存会への提案を・・・
- ◆北海道新聞社にお願いして、武四郎誕生地にもエゾヤマザクラを植樹しては・・・

27年度のバス研修旅行 予告 (下記内容で実施する予定です。)

実施日：平成27年5月18日(月)、又は(大雨など天候により)25日(月)

研修先：北野天満宮(武四郎が大小神鏡を奉納)と平等院鳳凰堂(世界文化遺産)を訪ねる旅

募集時期：4月初めにお知らせ・募集しますので、日を空けておいてください。

いつきのみや梅まつりの案内

斎宮歴史博物館友の会と当友の会とは友好関係にあり、今年の「いつきのみや梅まつり」は3月1日(日)に開催されますが、先方のご好意で、当友の会もテントをお借りして武四郎の功績や、友の会活動の展示をさせていただく予定です。